参加対象

都道府県市区町村社協職員・行政職員・地域福祉に関心のある方等

申込方法

申込締切　令和５年３月３１日（金）

Google フォーム
▼QR コード▼

下のURL又は右のQRコードからアクセスし、Googleフォームにてお申し込みください。申し込み後、順次、「セミナー参加票」を参加者のメールアドレスに送付いたしますので、ご確認のうえ、当日ご持参ください。4月10日を過ぎても主催者から「セミナー参加票」が届かない場合はお手数ですがお問い合わせください。
Google フォームが利用できない場合は、問い合せ先メールアドレスまでご連絡ください。

Google フォームURL▶　https://forms.gle/eDBS2bnBX48H6fbv9

参加費

※書籍「福来≪ふくらぎ≫の挑戦」（定価３,０００円）付き

＊１日目のみ（リモート参加含む）	5,０００円
＊２日目のみ（分科会Ａ,Ｂより選択）	5,０００円
＊２日間	8,０００円
＊交流会（希望者のみ）	8,０００円

参加費は「セミナー参加票」に記載された方法で期日までにお振込みください。なお、申し込み後の変更・取り消しについては、下記問い合わせ先まで速やかにご連絡下さい。
※取消の場合、参加費のご返金は致しかねます。書籍は後日郵送いたします。

宿泊のご案内

会場近くの宿泊施設を確保しています。希望される方は、３月１５日（水）までに参加申し込みと共にお申し込みください。尚、数に限りがありご希望に添えない場合がありますので、お早目にお申し込みください。

「ルートイン　グランディア氷見　和蔵の宿」　１泊　朝食付　シングル　8,８００円（税込）

他の宿泊施設をご希望の場合は直接施設へお申し込みください。
氷見の宿泊情報はこちら▶▶▶氷見市観光協会ホームページ　https://www.kitokitohimi.com/site/stay/248.html

氷見市芸術文化館へのアクセス

・車の場合
名古屋方面からは、東海北陸自動車道、関西・関東方面からは、北陸自動車道「小矢部 J.C.T」から能越自動車道「氷見 I.C」より国道４１５号線を東へ８分。

・電車の場合
新高岡駅⇒JR 城端線（高岡行）⇒JR 氷見線（氷見行）氷見駅下車
タクシーで約１０分 / バスで「氷見駅前」もしくは「氷見駅口」から約１５分芸術文化館前または芸術文化館西下車

その他

・新型コロナウイルス感染拡大状況により、内容が変更・中止となる場合があります。中止とする場合は、各参加者（申込担当者）へ事前にご連絡します。
・会場では、マスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒の徹底等の感染対策をお願いします。
・会場では、定期的な換気を行うため、体温調節可能な衣類をご準備ください。
・発熱や咳、風邪症状がある方は参加をご遠慮ください。

問い合わせ先

氷見市社会福祉協議会　総務・企画課
〒935-0025
氷見市鞍川975番地 氷見市社会福祉会館

TEL　0766-74-8407
FAX　0766-74-8409
メール　fukuragi@himi-shakyo.jp

「福来（ふくらぎ）の挑戦」出版記念

氷見市地域福祉実践セミナー

＊福来（ふくらぎ）…氷見市地域福祉計画の愛称、福来プランが由来。ふくらぎとは、鰤の幼魚の呼び名（富山弁）で、鰤のように出世（大きく）することを願って名付けられました。

2023年
4/15（土） 13:30～17:00
4/16（日） 8:45～12:00

開催場所

氷見市芸術文化館　ホール　他
（富山県氷見市幸町３１番９号）

主催・後援

主催：社会福祉法人氷見市社会福祉協議会
後援：氷見市
日本地域福祉研究所
富山県社会福祉協議会

「福来（ふくらぎ）の挑戦」出版とセミナー開催にあたって

日本福祉大学　原田 正樹

このたび、40年にわたる氷見市社協の取り組みが文献として出版されることになりました。長年、氷見市の地域福祉に関わってきた大橋謙策先生と私（原田正樹）が監修をさせていただきました。長期間のプロセスをつぶさに紐解いた書籍は他にありません。地方の１つの社協が、どのように発展してきたのか、その過程から学ぶことが多くあります。

今回、出版を記念して、書籍に記されていることを関係者の「生の語り」でお聞きし、現地で体感できるセミナーを企画しています。今回、編集作業に関わりながら、混迷している社協も、それぞれの歴史（発展の過程）をリフレクションすることで、そのヒントがあるのではないか。そのことは社協の固有性や優位性の再確認につながります。同時に課題も見えてきます。そうしたことをお互いに学びあうことを意図した本セミナーに多くの皆様が参加されますことを期待しています。

氷見市社会福祉協議会では、これまでの４０年の地域福祉実践をまとめた「福来≪ふくらぎ≫の挑戦」を出版します。本書は、社協の発展と地域福祉の展開について、その過程を丁寧にリフレクションし、これからの市区町村社協が求められる役割や機能を、社協職員として等身大の視点で考察したものです。

全国の地域福祉に関わる皆様に、私たちの取り組みを多角的に評価していただき、それとともに、これからの地域福祉のあり方や展望を共に語り合うセミナーを開催します。

4/15（土） 13:30～17:00

会場　氷見市芸術文化館　ホール

開会あいさつ

高嶋　達　　氷見市社会福祉協議会会長

第１部　スライドショー

「福来≪ふくらぎ≫の挑戦
～氷見市社協４０年の歩み～」

第２部　特別講演

「氷見市社協実践のこれまでとこれから　～氷見市社協との関わりを通じて～」

大橋　謙策　氏　NPO 法人日本地域福祉研究所理事長 / 富山県福祉カレッジ学長

第３部　シンポジウム

「氷見市の地域福祉実践の特長と課題
～在宅福祉サービスの開発、ソーシャルサポートネットワーク、
地域共生社会の実現を目指した包括的支援体制構築のための取り組み～」

前半セッション

「それぞれの立場から見た氷見市社協とこれから望むこと」

南市　牧　　氏（氷見市内地区社協連絡会議代表、朝日丘校区社協会長）
橋本　美紀　氏（社会福祉法人野の草会 こもれびの里施設長代理）
森　　芳克　氏（氷見市福祉介護課長）

後半セッション

「全国の市区町村社協と氷見市社協との共通点と
これからの市区町村社協のあり方」

高橋　良太　氏（全国社会福祉協議会地域福祉部長）
大田　勝信　氏（都城市社会福祉協議会事務局長）
森脇　俊二　　（氷見市社会福祉協議会事務局次長）

コーディネーター　原田　正樹　氏（日本福祉大学学長予定者）
コメンテーター　　大橋　謙策　氏

交流会　１８：３０～２０：３０

【会場】「番屋亭」（ひみ番屋街内）

4/16（日） 分科会

A・B　9:30～12:00
C・D　8:45～12:00

分科会Ａ「包括的支援体制を構築するための重層的支援体制整備事業の取り組み」

官民協働の総合相談窓口の構築（ふくし相談サポートセンター）、地域・専門機関・行政が一体となって包括的支援体制を構築するための市社協の役割、行政とのパートナーシップの築き方などを考えます。

実践紹介　大田　勝信　氏
　　山崎　伸行　　（氷見市社会福祉協議会事務局次長）
コーディネーター　原田　正樹　氏

【定員】１２０名　【会場】氷見市芸術文化館　マルチスペース

分科会Ｂ「福来≪ふくらぎ≫の挑戦 ～氷見市社協一押しの取り組みを紹介します～」

1.「地域や多業種と協働した子ども支援」

子ども食堂の立ち上げや運営支援、農業協同組合やコンビニエンスストア等と取り組んでいるフードドライブ、顔ぶれ豊かな支援スタッフが関わる学習生活支援事業の実践について紹介します。

2.「氷見市の障害者支援の１０年」

平成２６年に誕生した官民協働の福祉の総合相談支援窓口である「ふくし相談サポートセンター」内に基幹相談支援部門を設けてから、今日に至るまでの専門職の育成や当事者組織の立ち上げと居場所づくり、住民の個別支援活動を通じた障害理解への取り組みについて紹介します。

3.「包括的支援体制の構築に欠かせない地域住民によるケアネット（個別支援）活動」

専門職と連携した支え合い活動や複雑化・複合化した地域生活課題を抱える世帯への地域住民の支援、活動から障害理解につながった事例、災害時を意識した取り組みとのつながりについて、紹介します。

4.「市社協事務局機能の強化につながった職員のエリア担当制」

市民に必要とされ続ける組織として、住民主体の地域福祉活動の支援、地域生活課題の解決、職員の育成をねらった全部所職員のチーム制による「エリア担当制」導入から１５年でどのような効果をもたらしたのかを紹介します。

アドバイザー　高橋　良太　氏　　コーディネーター　村上　満　氏（富山国際大学教授）

【定員】４０名　【会場】氷見市芸術文化館　交流室１・２

分科会Ｃ　フィールドワークⅠ

「包括的支援体制構築に向けた地区社協の取り組み」

朝日丘校区社協

世帯を支える地域によるケアネット活動（個別支援）、なんでも相談窓口の開設と生活支援サービスの開発、対象を限定しない居場所づくりに取り組んだ地域の挑戦と市社協による支援の全容を紹介します。

【定員】20名　【会場】まちなかサロンひみ

分科会Ｄ　フィールドワークⅡ

「人口減少時代における地区社協のあり方を考える」

仏生寺地域づくり協議会

地区社協組織の再編、地域生活課題に応じた外出・買い物支援サービスの開発、他人事を我が事に換える地域防災の取り組み、地域福祉活動サポーターとして新たな人材確保に成功した地域の挑戦と市社協による支援の全容を紹介します。

【定員】20名　【会場】旧仏生寺小学校クラブハウス

１１：３０～　「フィールドワークⅠ.Ⅱ.　全体会」

アドバイザー　大橋　謙策　氏　　【会場】氷見市芸術文化館 エントランスロビー

＊分科会Ｃ、Ｄ…氷見市芸術文化館に８：４５に集合し、マイクロバスにて現地に向かいます。